

島根県立石見美術館

企画展「めがねと旅する美術展 江戸時代から現代まで—「みる」ことの探求」の開催について

島根県立石見美術館では、企画展「めがねと旅する美術展 江戸時代から現代まで—「みる」ことの探求」を下記のとおり開催いたします。

※ 9 月 14 日（金）14 時 30 分より内覧会を開催いたします。

記

1. 会 期 平成 30 年 9 月 15 日（土）～11 月 12 日（月）

休館日：毎週火曜日

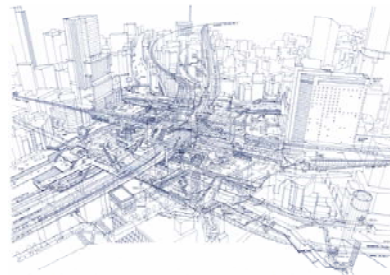
開館時間：10:00～18:30（展示室への入場は 18:00 まで）

2. 会 場 島根県立石見美術館 展示室 D（グラントワ内）

3. 概 要

「めがね」は「みる」ことを補助する器具ですが、本展ではこれを、世界を知るための、あるいは見えないものを見るためののぞき窓としてとらえます。アーティストたちが広い世界を、あるいは見えない世界を表すために制作した美術作品もまた、私たちに様々なイリュージョンを見せてくれる「めがね」といえます。

展示室には、遠く離れた景色を望遠鏡のように間近に見せる風景画や、普通では見えないものを露わにする透視図、レンズや錯視の効果を利用した「だまし絵」、最先端の VR（ヴァーチャルリアリティ）など、江戸時代から現代までの多彩な作品が一堂に会します。また、展覧会のために制作した短編アニメーション「押絵ト旅スル男」（約 10 分）を会場で上映します。



田中智之《渋谷駅解体 2011》2011 年 作家蔵



大畑稔浩《春の予感》1993 年
東京ステーションギャラリー蔵

塚原重義／やほみ《押絵ト旅スル男》イメージイラスト

© めがねと旅する美術展実行委員会／塚原重義／トワフロ

4. 関連プログラム

◆敬老週間 2018年9月15日(土)～9月24日(月・祝)

年内に65歳以上になる方は美術館観覧料が無料。年齢が確認できるものをお持ちください。

◆開幕記念イベントⅠ「アーティストと旅する美術展」

益田ゆかりのアーティスト3名による作品解説。

[日時] 2018年9月15日(土) 11:00～12:00 [参加アーティスト] 大畑稔浩、野村康生、平川紀道

[料金] 参加無料(展示室前集合) ※企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要

◆開幕記念イベントⅡ 座談会「展覧会のひみつをのぞく」

本展を企画した学芸チーム「トリメガ研究所」が展覧会の意図や裏話を披露。

[日時] 2018年9月15日(土) 14:00～15:30

[出演] 工藤健志(青森県立美術館 総括学芸主幹)、村上敬(静岡県立美術館 上席学芸員)、
川西由里(当館専門学芸員)

[会場] 講義室 [料金] 入場無料/当日先着40名

◆開館記念感謝祭「きんさいデー」美術館は終日無料開放! [開催日] 2018年10月7日(日)

◆ギャラリートーク(学芸員による作品解説)

[日時] 2018年10月7日(日)、10月21日(日)、11月11日(日) 各日14:00～ 申込不要

※企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要

◆科学×芸術 対談「見えない世界を見たいーサイエンスとアートの挑戦」

身体の内側を見せるバイオイメージング技術に取り組む科学者と、肉眼では見えない世界を描く画家の異分野コラボレーション。

[日時] 2018年10月13日(土) 14:00～15:30

[出演] 曾我公平(東京理科大学基礎工学部教授)、野村康生(本展出品作家、益田市出身)

[会場] 講義室 [料金] 入場無料/当日先着40名

協力: 科研費新学術領域「レゾナンスバイオ」

◆Grantow tea ガーデン「幻想茶」

飲んでいるうちに色が変わる不思議なお茶をどうぞ。

[日時] 2018年10月14日(日) 11:00～ [会場] 美術館ロビー

[料金] 無料/先着100名 ※企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要

◆スペシャルトーク「空から見る島根県」

島根県を上空から撮影した《JP-32》を、展覧会未出品作品も含めてスライドショーで公開。

[日時] 2018年11月3日(土・祝) 14:00～15:30 [出演] 松江泰治(本展出品作家)

[会場] 多目的ギャラリー [料金] 入場無料/当日先着80名